

下田北(仮)IC 周辺まちづくり基本計画策定業務委託 プロポーザル企画提案審査基準

1 審査の考え方

提案書の審査にあたっては、「下田北(仮)IC 周辺まちづくり基本計画策定業務委託要求水準書」「下田北(仮)IC 周辺まちづくり基本計画策定業務委託プロポーザル募集要項」等の関係書類を基に、本業務に対する企画提案等について、提案書及びプレゼンテーション並びにヒアリング等における聞き取りにおいて審査する。

2 評価基準

評価は、審査項目として、①参加者の経験及び能力に関する事項、②価格に関する事項、③提案に関する事項、の合計150点を満点とし、評価基準は別表「評価基準」のとおりとする。

3 評価点数

(1) 評価基準①(50点満点)

評価の際には、各項目の審査基準を参考とし、審査項目ごとに3段階で評価を行う。評価点は、各項目の配点×評価係数とし、評価係数はA=1.0、B=0.6、C=0.2とする。なお、該当する評価係数がない場合は0点とする。

(2) 評価基準②～③(100点満点)

評価の際には、各項目の審査基準を参考とし、審査項目ごとに5段階で評価を行う。評価の際には「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断するものとする。

評価にはそれぞれ対応する点数を設け、当該項目の得点とする。

評価	配点が5点の場合の点数	配点が10点の場合の点数
大変優れている	5	10
優れている	4	8
普通	3	6
劣る	2	4
大変劣る	1	2

なお、提示見積額の評価点については、次の式により算出された数の小数点以下を切り捨てた点数值とし、最低点を0点とする。 式：配点×(1－見積額／委託料限度額)

見積額は、別紙様式 見積明細書における業務委託料(業務価格+消費税)とする。

4 受託候補者の選定について

選定委員の採点(評価基準①、②、③)により、以下の条件に従い順次選定する。

ただし、全選定委員の平均得点が80点に満たない場合は要求水準を満たしていない

として、受託候補者として選定しない。

- ①過半数を超える選定委員から最高順位を得た者
- ②①により決しない場合、全選定委員の合計得点が最高得点の者
- ③②が複数いる場合、評価基準③の評価点の合計が最も高い者
- ④③が複数いる場合、提案金額の最も安価な者

別表

評価基準【①参加者の経験及び能力に関する事項】

評価項目				審査基準	配点	
企業の業務実績	同種業務の実績			同種業務の実績について、以下で評価する。 A：実績が 5 例以上ある B：実績が 1 例以上ある C：類似業務の実績がある	10	
予定技術者の技術力と業務実施能力	管理技術者	資格要件	技術者の資格 その専門分野 の内容	技術者の資格取得について、以下で評価する。 A：技術士（都市及び地方計画）を有する B：R C C M（上記部門に該当するもの）を有する	5	
		専門技術力	都市計画部門 従事期間	都市計画部門の従事期間について、以下で評価する。 A：従事期間が 1 0 年以上 B：従事期間が 5 年以上 C：従事期間が 1 年以上	5	
			同種又は類似 業務の実績	同種又は類似業務実績について、以下で評価する。 A：同種の業務実績が 2 例以上ある B：同種の業務実績が 1 例以上ある C：類似の業務実績がある	5	
		専任性	手持ち業務量	手持ち業務の状況を、契約金額 500 万円以上の手持ち業務件数を 以下で評価する。 A：1 件以下 B：3 件以下 C：3 件を超える	5	
	主たる担当技術者	資格要件	技術者の資格 その専門分野 の内容	技術者の資格取得について、以下で評価する。 A：技術士（都市及び地方計画）を有する B：R C C M（上記部門に該当するもの）を有する	5	
		専門技術力	都市計画部門 従事期間	都市計画部門の従事期間について、以下で評価する。 A：従事期間が 1 0 年以上 B：従事期間が 5 年以上 C：従事期間が 1 年以上	5	
			同種又は類似 業務の実績	同種又は類似業務実績について、以下で評価する。 A：同種の業務実績が 2 例以上ある B：同種の業務実績が 1 例以上ある C：類似の業務実績がある	5	
		専任性	手持ち業務量	手持ち業務の状況を、契約金額 500 万円以上の手持ち業務件数を 以下で評価する。 A：1 件以下 B：3 件以下 C：3 件を超える	5	
	配点小計①					50

評価基準【②価格に関する事項】

評価項目		審査基準	配点
見積額 提示	見積金額の妥当性	配点×（1－見積額／委託料限度額）	20
配点小計②			20

評価基準【③提案に関する事項】

評価項目			審査基準	配点
・意見聴取方法 ・工程計画 実施方針・実施フロー	業務内容の理解度		下田市の現況への習熟度があり、当該業務の目的、条件、内容の理解度が高いか。	10
	実施方針の的確性		課題認識が適切であり、課題に対する取組方針や実施方針が妥当であるか。	5
	実施フロー、工程計画の的確性		作業スケジュールや策定プロセスなどの工程計画が的確であり、確実な業務の遂行が見込まれるか。	5
評価テーマに対する企画提案	テーマ① 伊豆半島及び賀茂地域における下田北(仮称)インターチェンジ周辺の土地利用が担う役割	的確性	下田市の現況及び地域特性を的確に踏まえ、優れた提案となっているか。	10
		実現性	提案内容に説得力があり、また実効性、実現性のある提案となっているか。	10
	テーマ② 本地域の法規制における課題と課題に対する検討方針について	的確性	下田市の現況及び地域特性を的確に踏まえ、優れた提案となっているか。	10
		実現性	提案内容に説得力があり、また実効性、実現性のある提案となっているか。	10
ヒアリング	プレゼンテーション	資料作成能力	提案資料について、的確な文章表現、作図等の創意工夫、重点箇所の整理方法等は分かりやすく、説得力があるか。	10
		提案意欲	業務に対する取組意欲、熱意が感じられるか。	10
配点小計③				80

配点合計（①＋②＋③）	150
-------------	-----